
田村で脱皮！

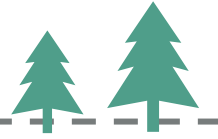
～ふるさとボディと魅力を発見～

立教大学 観光学部 西川研究室

根本晴佳 萩原悠 梶房千笑 斎藤青葉 宇佐見萌夏



目次



01 はじめに

1. 私たちが考える観光まちづくり
2. 田村市選定理由
3. プラン作成までのプロセス

02 現状把握

1. 現地調査
2. 問題認識
3. 解決策

03 プラン内容

1. ターゲット
2. 選択コンテンツ
3. 詳細

04 実現計画

1. 運営フロー
2. PR方法

05 効果と新規性

1. 経済効果
2. 社会的効果
3. 新規性

06 おわりに

1. まとめ
2. 地域の方からのコメント
3. 学生からのコメント
4. 私たちの思い

01 はじめに

観光まちづくりとは

地域の課題を「観光」で解決すること



地域の魅力を見ること
観光地に訪れるだけが観光ではない



地域の魅力に地域の人と観光客の双方に
気づいてもらうことで地域の課題を解決する

東日本大震災・原発事故



浜通り地域を想起

- ・福島第一原発の位置
- ・放射能や津波による大きな被害

内陸の地域にはスポットが当たらない？



私たち

事前学習

- ・田村市についての情報収集
- ・総合計画・観光計画の読み込み

現地調査
7/15~16

- ・船引・神俣まちあるきによる現状把握
- ・あぶくま洞への観光客・二瓶恵美子様へのインタビュー調査

振り返り

- ・まちあるき・インタビュー調査で得たポテンシャル・課題の洗い出し
- ・お話を伺いたい方々へのアポイント

現地調査
8/1~4

- ・アポイントを取った方へのインタビュー調査

議論

- ・インタビュー調査で得たポテンシャル・課題の整理
- ・今後の方針・内容についての話し合い

02 現状把握

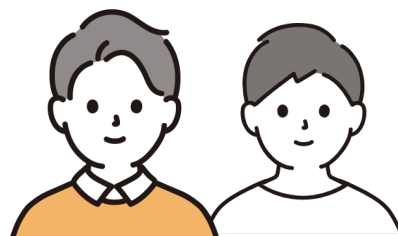


インタビュー調査にご協力いただいた皆様

キーパーソン



田村市観光交流課
鈴木様・玄葉様・郡司様



廃校活用の先駆者
Switch
久保田様・菅野様



滝根町の行列のできる
ラーメン屋さんくるげ
佐藤様



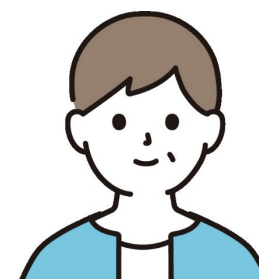
Switchと共同して
廃校活用を進める
田村市保健福祉課
鈴木様



除染土壌が置かれていた
場所からの復興
ホップジャパン
河本様



虫を通じて、震災後も
田村の観光を支えた
ムシムシランド
吉田様



震災を背景に
「キムコロ」を復活
市議会議員
二瓶様

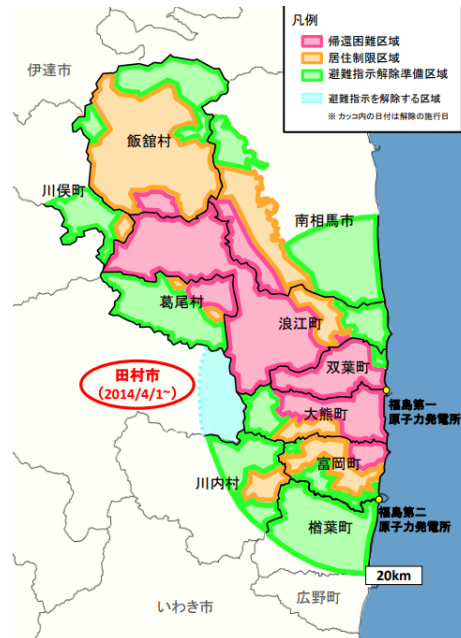


都路の復興の
最前線に携わる
復興応援隊
佐原様

田村市の復興状況と課題



画像引用：田村市観光交流課「田村市について」
<https://visit-tamura.jp/about/>

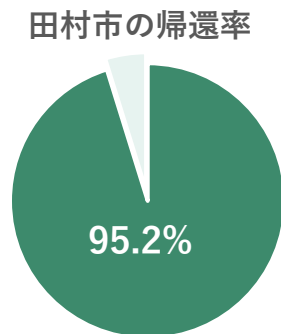


画像引用：経済産業省「避難区域の概念図」
https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/pdf/140310/140310_01c.pdf

2011年03月12日 都路地区全域に避難指示

2014年04月01日 避難指示区域 解除

現在 95%の人口が戻っている



■ 帰還済 ■ 未帰還

出典：田村市、2023、「田村市避難状況調査報告書」、
https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/8/hinanzoukyou_1_1.html

12市町村での田村市の立ち位置

震災から10年以上たった今、12市町村の中でも補助金などの面で差がでてきている。

早い段階でほとんどの日常を取り戻した田村市は
復興のフロントランナーとして自立が必要なのではないか。



田村市観光交流課
玄葉様

復興から次のフェーズへ



＼ 復興のフロントランナーとしての姿 ／



インタビュー調査で明らかになった田村の課題

田村市出身で今は田村市在住だけど…

若いときは田村の魅力が分からず
田村を離れてしまった

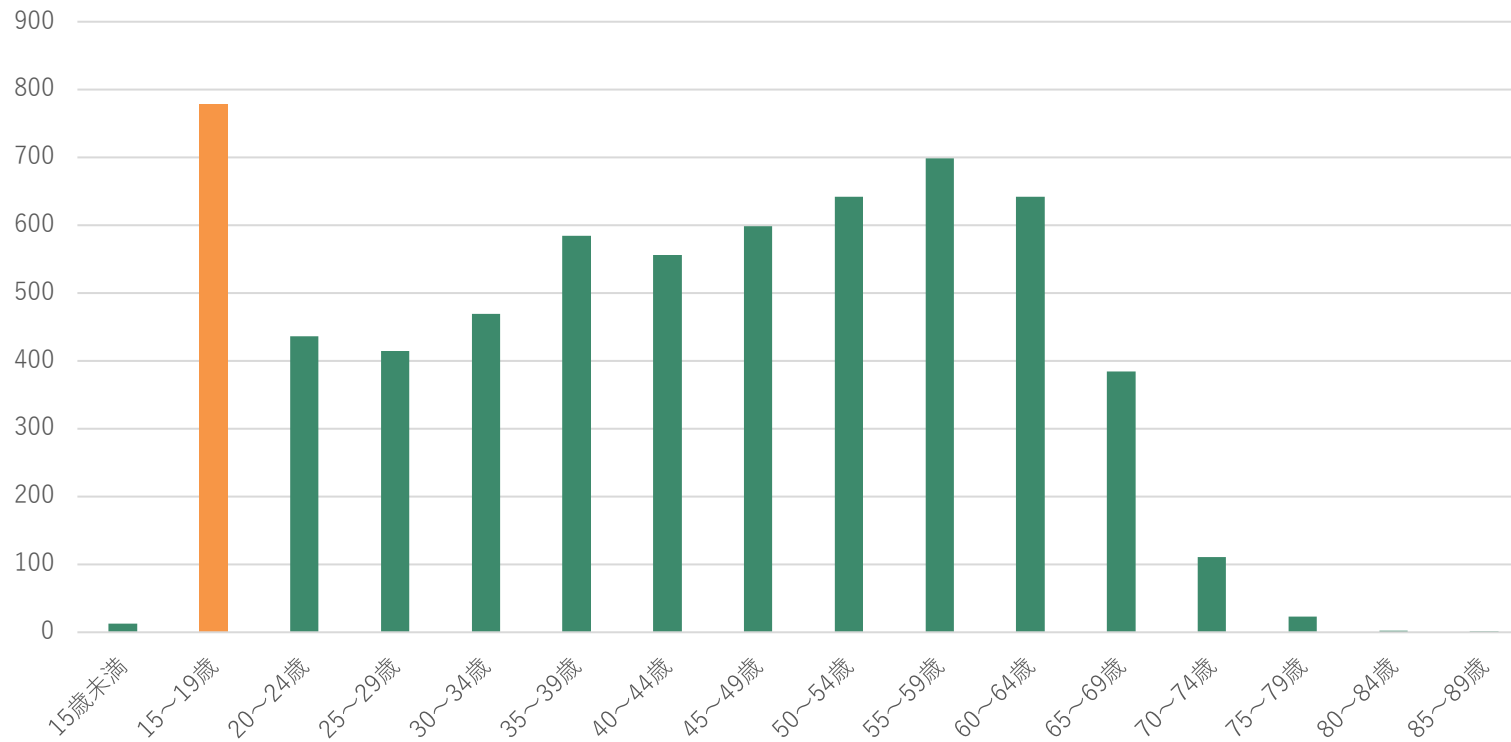


さんくるげ
佐藤様



Switch
久保田様

令和2年度 田村市の流出口



出典 国勢調査、2020、「R2国税調査（人口流出）」
<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1Ph9B0HhhEpjPdoLo0SKGSSs34qVfZUoEz/edit#gid=903782277>（市役所提供）



15～19歳の人口流出が**一番多い**

復興のフロントランナーとして補助金から自立していくため、田村市として活力が必要

私たちが解決すべきだと感じた課題は

**若者が田村の魅力を感じられず
市外に出てしまう**

ということ



私たち

課題：若者が田村の魅力を感じられず市外に出ていってしまう



解決策

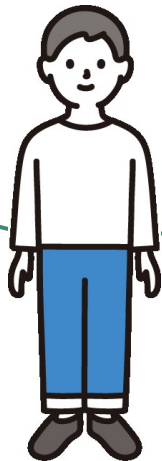
若者が田村市に魅力を感じる機会を作る

+

田村市の魅力を市外から気づかせてくれる存在を活かす

03 プラン内容

田村市の
小学4年生から6年生



東京都中野区の
小学4年生から6年生





田村市と東京都中野区は

姉妹都市



インタビューで知った中野区との姉妹都市としての関わり

中野区の緑化フェアなどで腐葉土販売やカブトムシ配りをしていた。

カブトムシを通じた交流があった。



ムシムシランド施設長
吉田様

姉妹都市提携をきっかけとした住民の交流があった。
中野区の小学生が田村市で自然体験や農業体験など、
地域の小学生との交流をずっと続けてきていた。



一般社団法人 Switch
菅野様



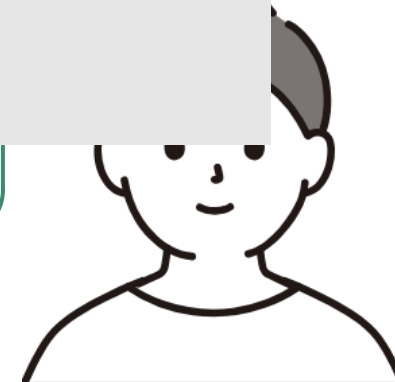
インタビューで知った中野区との姉妹都市としての関わり

震災の影響で交流がストップ



ムシムシランド施設長
吉田様

地域の小学生との交流をずっと続けてきていた。



一般社団法人 Switch
菅野様



中野区との交流を再興する動き

中野区のイベントに参加

中野まつり等参加実行委員会 中野区のイベントに参加

昨年10月15日・16日に「花と緑の祭典2022秋」が、同11月12日・13日に「2022中野にぎわいフェスタ」が開かれ、中野まつり等参加実行委員会が3年ぶりに参加しました。

各イベントとも天候に恵まれ、いわなの塩焼きや田村市産の新鮮野菜、エゴマ商品を販売し、多くの来場者でにぎわいました。また、観光パンフレットや新米の無料配布を行い、田村市の特産品と観光のPRをしました。

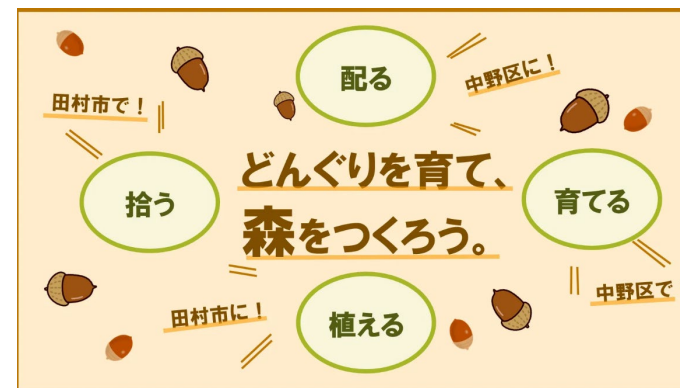


▲「花と緑の祭典2022秋」の様子

出典：田村市『田村市政だより』2023年1月号
https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/2/assets/202301_A3.pdf

どんぐりプロジェクト

(中野区に田村市のどんぐりを配布、中野区で育ててもらい育った苗木を田村市に植樹)



Switch 「みんなで植えて、育てる どんぐりを育てて豊かなもりを作ろう！」
<https://tokiwa-plus.com/news/9CgPda86>

▶ 昆虫と小学生の交流はまだ再興されていない

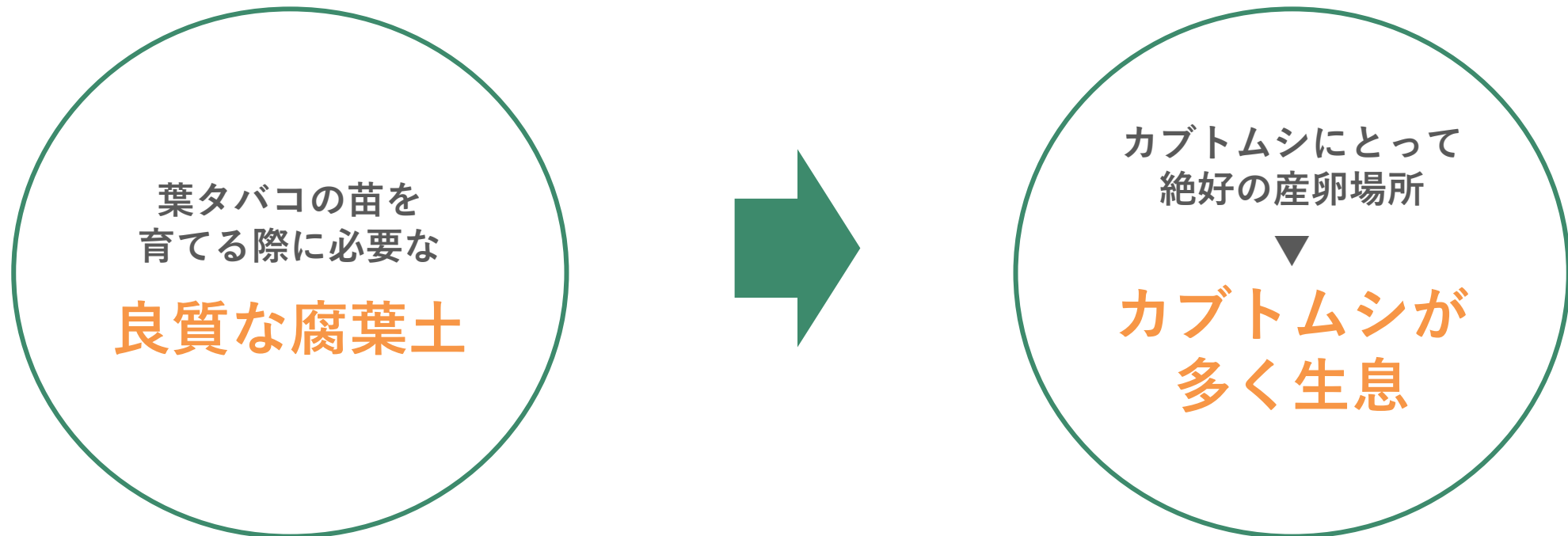


私たちは以前のような
中野区の小学生との交流や昆虫を通じた交流を
再興し、さらに発展させたい！



田村市における昆虫

田村市▶葉タバコの生産地



田村市の昆虫を使ったまちおこし



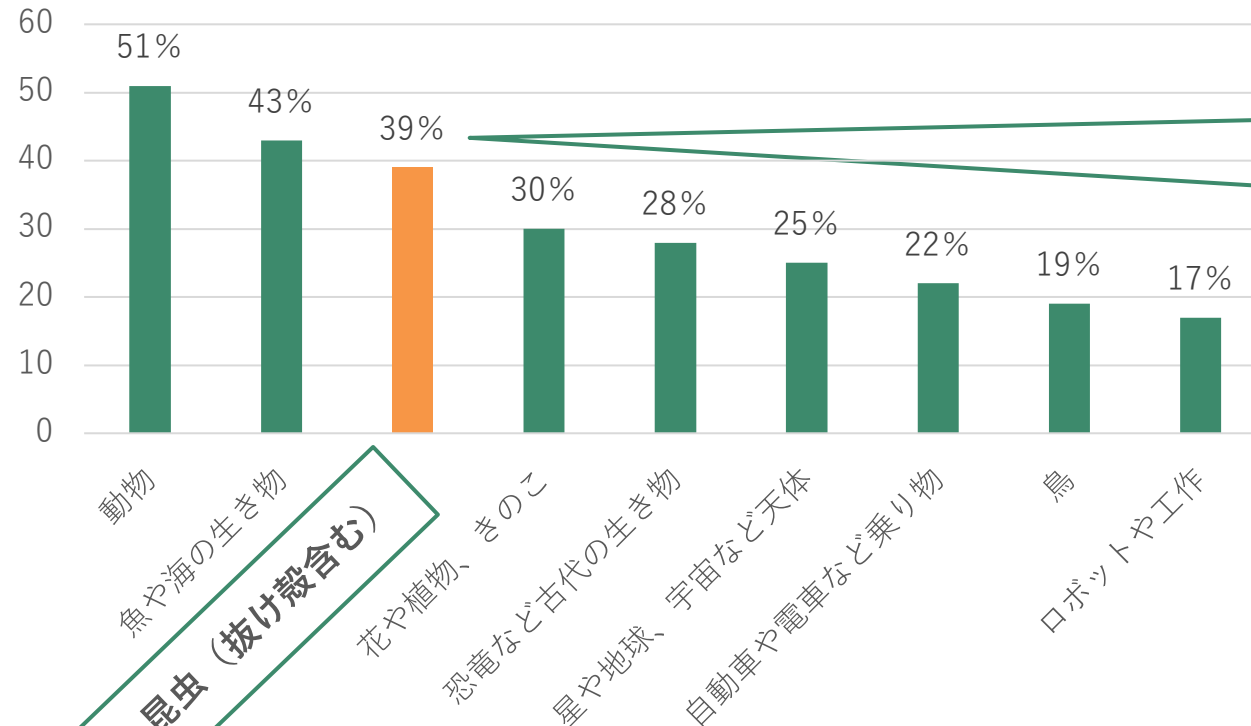
田村市観光交流課内に
昆虫課を設置



日本で唯一の虫の楽園
ムシムシランド

子供の科学に対する関心分野 (%)

(12歳以下の子供を持つ保護者247人を対象にwebアンケート)



昆虫に興味を持っている子供は
全体で3位と多い

グラフ：PRTIMES 子供の科学への関心調査
<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000050.000026954.html>



中野区の小学生との交流の再興

×

昆虫を通じた交流の再興



私たちのターゲット

昆虫に興味がある

田村市の
小学4年生から6年生

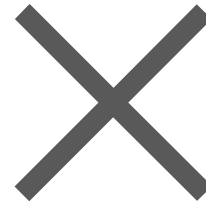
&

中野区の
小学4年生から6年生

指定コンテンツ

昆虫

▶ 田村市特有のコンテンツ



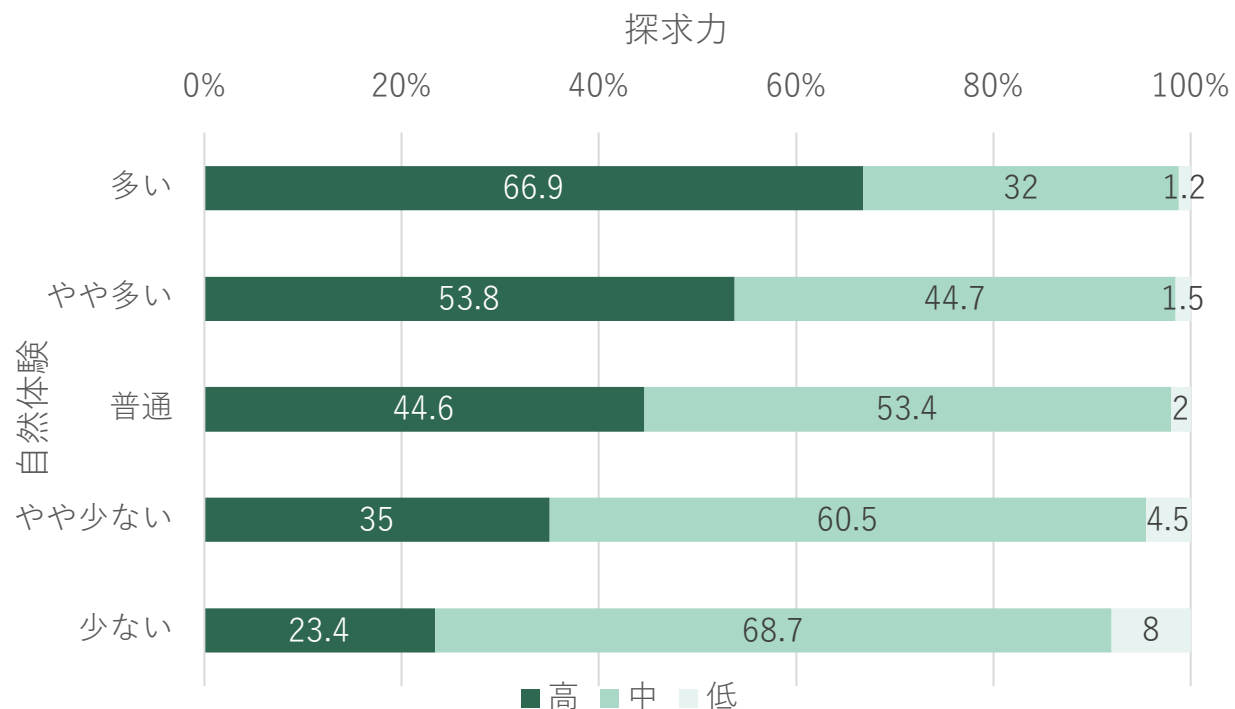
指定コンテンツ

アウトドア

▶ 豊かな里山でのアクティビティ



自然体験と探求力の関係 (小4～小6、中2、高2)



グラフ：国立青少年教育振興機構
 青少年の体験活動等に関する意識調査（令和3年）
<https://www.niye.go.jp/files/items/6936/File/%E8%87%AA%E7%AB%8B/zentai.pdf>

自然体験が多い子供は
探求力が高い

探求力を身につけることを通して目指される
 「望まれる総合的な人間像」
 = 学校・地域がよりよくなるように
 自ら進んで考え行動する



【里山でのアクティビティなど「アウトドア」の重要性】

昆虫や自然環境での体験を通して
探求力を養う

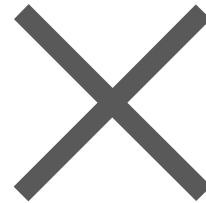


地域の課題を解決する人材の育成ができる

プラン概要

田村市の小学生の家に

ホームステイ



昆虫を用いた

ステップアップ型
体験プラン

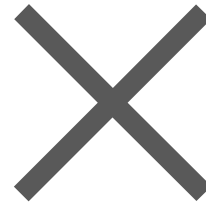
に挑戦



プラン概要

田村市の小学生の家に

ホームステイ



昆虫を用いた
ステップアップ型
体験プラン
に挑戦



なぜホームステイ？

共に生活することで親密な関係性が生まれる

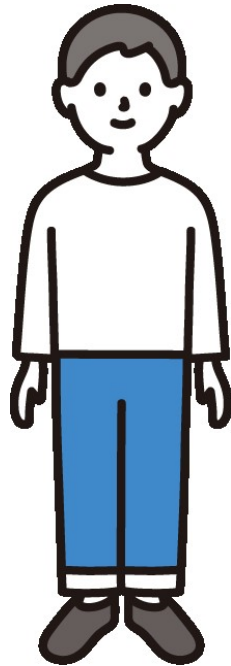


息の長い交流に繋がる



ホームステイの仕組み

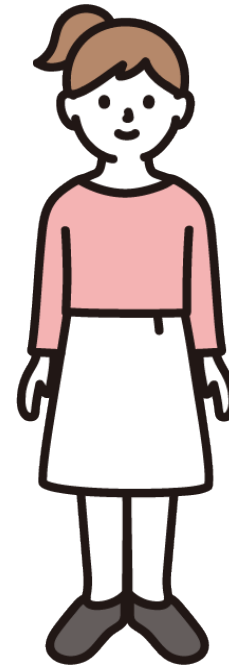
中野区の小学生と田村市の小学生の
小学4年生～小学6年生の3年間にわたる1：1のバディ制度



田村市の小学生



3年間一緒に体験して成長していく
同学年の相棒



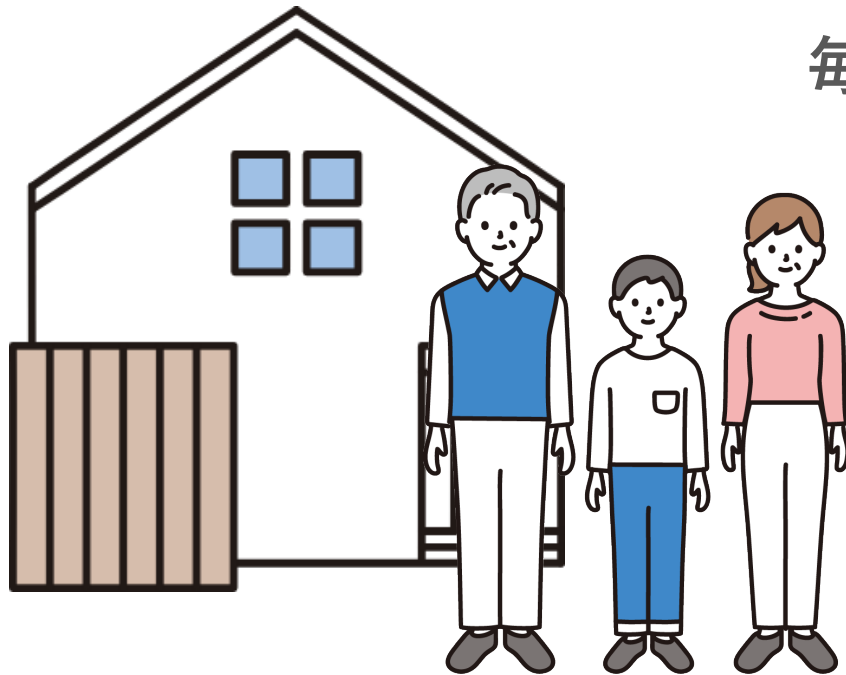
中野区の小学生



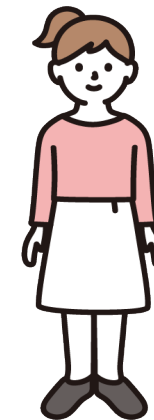
ホームステイの仕組み

毎年同じバディの家に
ホームステイ

都内の小学生が
田舎暮らしを
体験できる機会！



田村市の小学生の家族

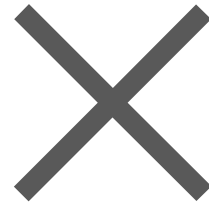


中野区の小学生



プラン概要

田村市の小学生の家に
ホームステイ



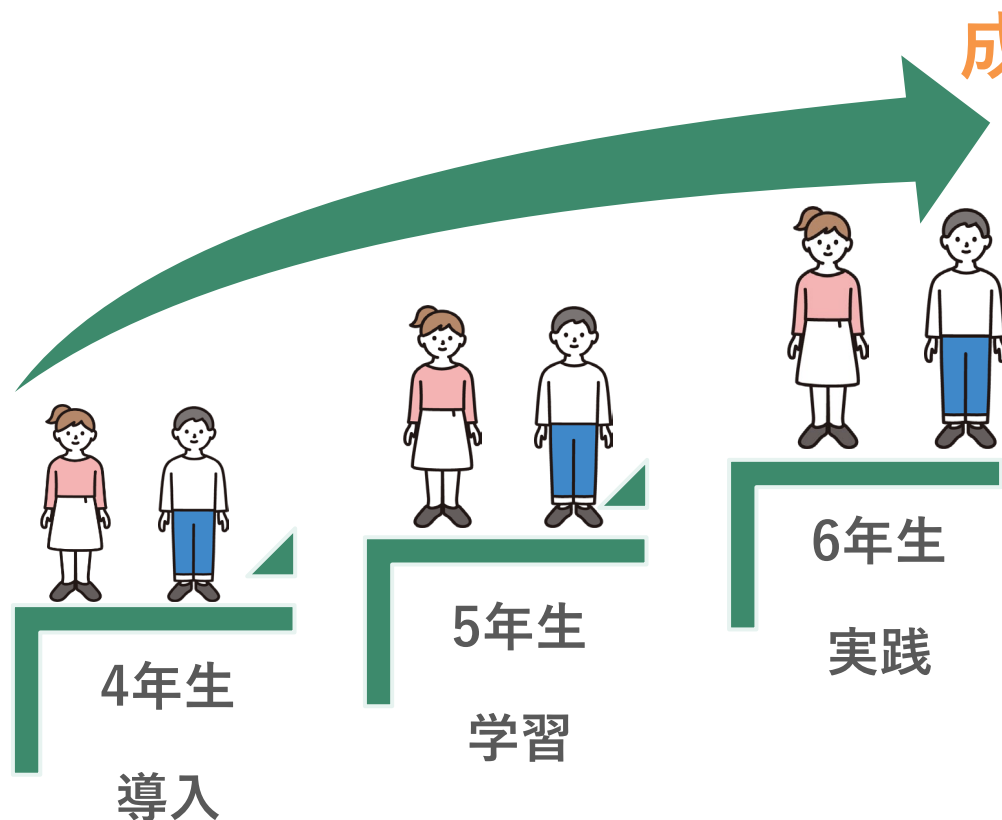
昆虫を用いた
ステップアップ型
体験プラン
に挑戦





ステップアップ型体験プランとは？

成長



- ▶ 田村市の小学生と中野区の小学生が共に自然体験
- ▶ 学年が上がるごとに内容が深まる



体験を通して一緒に成長することで
バディとの関係を深める



ステップアップ型体験プランのテーマ

4年生

- ・ 昆虫を通じて田村の自然を**楽しむ**

5年生

- ・ 昆虫を取り巻く環境を**学ぶ**

6年生

- ・ 今までの経験を活かし自ら**実践する**



なぜステップアップ型？

1年ごとに内容が深まる



成長を実感！



また参加したくなる！



4年生 昆虫を通じて田村の自然を楽しむ編

～モデル日程～

1日目：到着・ムシムシランドに行く

2日目：採集ルールの説明・仕掛け・昆虫ゼリー作り

→仕掛けを掛けに行く

3日目：仕掛けたところに取りに行く・山遊び

4日目：バディとその家族と観光（例 あぶくま洞）

5日目：みんなで振り返り・認定証を渡す

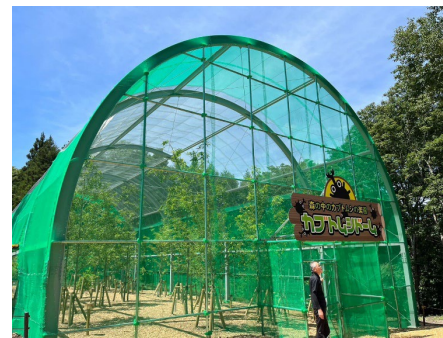
普段図鑑でしか見ない昆虫を
罫を作って実際に
自分で採る！

田村市を観光する事で
昆虫以外の田村市の魅力を知る！

認定証を渡すことで、プラン
やりきった達成感を感じられる！

4年生 昆虫を通じて田村の自然を楽しむ編

～コンテンツ～



作成者撮影

カブトムシ自然王国 ムシムシランド

- ▶ 合計**1000**匹のカブトムシ・クワガタがいるカブトムシドームで、触れ合い体験ができる
- ▶ リニューアルした施設内ではカブトムシだけでなく、奇虫との触れ合い体験もできる。



昆虫と触れ合う**楽しさ**を実感できる施設！



4年生 昆虫を通じて田村の自然を楽しむ編

～コンテンツ～



画像引用：switch、「もりのびとうんと学び。森と学ぶ。」
<https://switch-or.jp/archives/2177>

山遊び

- ▶ 昆虫を取り巻く環境に触れるアクティビティ
- ▶ 竹を使った滑り台などの山の資源を使ったアクティビティを行う。

※switchが実際に「もりのび」として実施している



昆虫がいる山で楽しむ事ができるアクティビティ！



次年度の自然を深く知るプランへの出発点！



5年生 昆虫を取り巻く環境を学ぶ編

～モデル日程～

1日目：到着・バディとBBQ（学校のみinnで）

2日目：里山探検（昆虫がどういうところにいるのか調べる）

3日目：里山でムシかごの材料採集→ムシかご作り

4日目：里山で昆虫を取りに行く

5日目：みんなで振り返り・認定証渡す

バディと一緒に
BBQをすることで
交流を深める



5年生 昆虫を取り巻く環境を学ぶ編

～コンテンツ～



里山探検・虫かご作り

- ▶ 里山のどのような場所に昆虫がいるのかや、里山由来の材料で虫かごを作ることで里山の特徴を**楽しみながら学べる**。
- ▶ 里山で捕獲した昆虫を、作った虫かごで飼育することで、帰宅後も**思い出**すきっかけとなる



昆虫好きから、昆虫を取り巻く田村市の**環境**へも**関心**が高まる！

6年生 今までの経験を活かし自ら**実践する**編

～モデル日程～

1日目：到着・子どもたちでキャンプ（グリーンパークのロッジ）

翌日に向けてチームで泊まり、
団結力を高める！

2日目：チームでカブトムシ捕獲選手権①計画・仕掛け

3日目：チームでカブトムシ捕獲選手権②取りに行く・探す（持ち帰りは1人1匹まで）

4日目：模造紙一枚に、3年間やったことをまとめる

模造紙にまとめることで、
3年間で行った事を振り返る！

5日目：発表・卒業証書・標本をもらえる



6年生 今までの経験を活かし自ら実践する編

～コンテンツ～

カブトムシ捕獲大作戦！

チームA

- ①カブトムシをおびき寄せる罠を作る
- ②カブトムシが多くいる里山の
〇〇に罠を設置



小5で学んだ、カブトムシが
よくいる木の密集地に行く！



小4で学んだ、ペットボトルで簡
単にできる罠をたくさん作って設
置する！

- ③カブトムシがよくいる〇時に罠付近
に近づき、捕獲！

チームでカブトムシ捕獲大作戦

- ▶ 4年生と5年生で学んだ知識を活かして、
カブトムシを捕獲する為の計画をチームで作る
- ▶ 自分達で作った計画を基にカブトムシの捕獲を
実践してみる

4年生、5年生の受動的な学習・体験



能動的に実践へ！



意義

『現在、インターネットなどを通して感覚的に学び取る「間接体験」やシミュレーション模型を通して模擬的に学ぶ「疑似体験」が圧倒的に多くなってきている。』



『今後の教育において重視されなければならないのは
ヒト・モノや実社会に実際に触れ、
関わり合う「直接体験」である。』

出典：文部科学省、「体験活動の教育的意義」

直接体験を中心としたこのプランは
現代に必要とされているといえる



ステップアップ型体験プランが 終わっても関わり続ける

中学生以降の関わり方

- ・ **帰省感覚**でバディの家族を訪問する
- ・ **サポーター**としてステップアップ型体験プランの事業に関わる
 - ↳ 運営・体験プランの補助

その他

- ・ お友達紹介制度
- ・ **経験談**を自分の学校で語る
- ・ **お手伝い**（キャンプ場や農家さんのお手伝い）
- ・ **募金制度**（募金すると特産品などの返礼品がもらえる）

中学生からサポーターとして、
田村市に初めて関わることも可能！

離れていても田村を応援！
募金は運営費に使われます。

帰省感覚でバディの家族を訪問するとは？



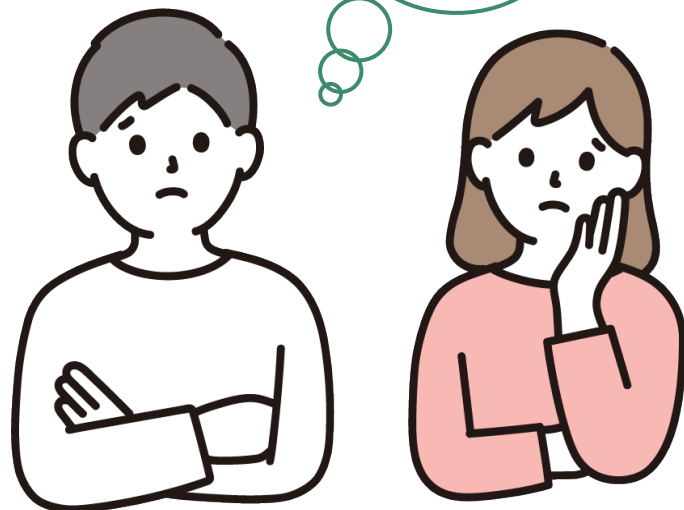
3年間の交流で深い絆
第二の家族に会うという感覚で訪問





サポーター制度

カブトムシ捕獲大作戦
の計画どうしよう？



困っている小学生

アドバイス

まずは昆虫が取れやすい
場所から考えてみたら？



プランを終えた中学生以降の人



サポーター制度



プランを終えた中学生以降の人

自分達の時は〇〇というプランが一番楽しかったので、それは継続したい！

虫あみがぼろぼろだったから交換した方がいいと思う。

新しく〇〇という山遊びをしたらどうか？



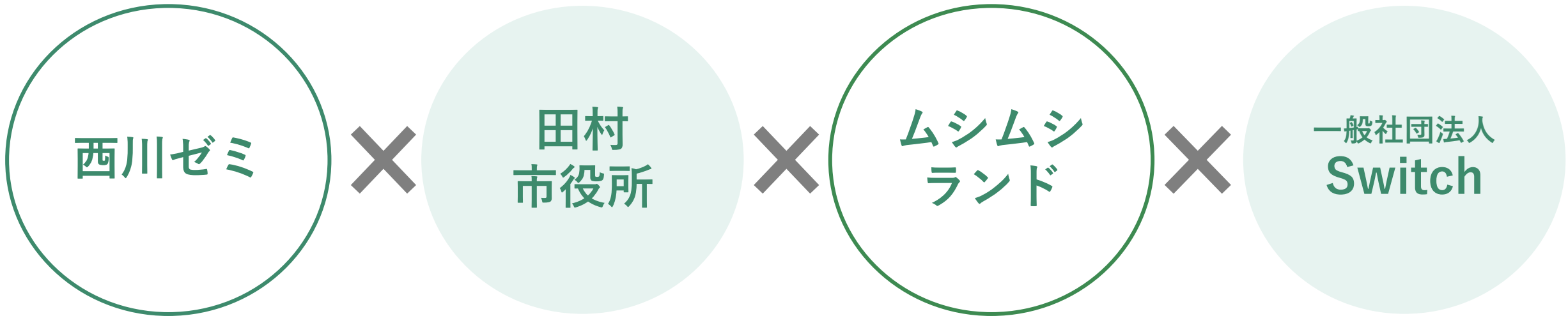
プラン作成時への**意見出し**に関わってもらう



運営への興味を持ってもらう & 田村市と**深く関わる**きっかけ

04 実現計画

合同で運営



- ▶企画・運営
- ▶最初のサポート要員の役割

- ▶中野区・教育機関との連携
- ▶イベント・学校での宣伝

- ▶昆虫プログラムの指導・提供

- ▶教室の貸し出し
- ▶ホームステイ先と中野区の子供とのマッチング



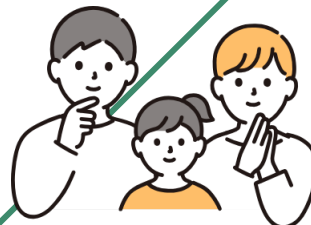
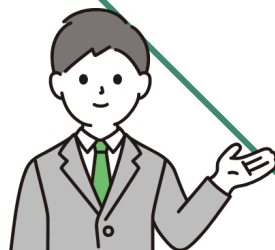
インター
ネット



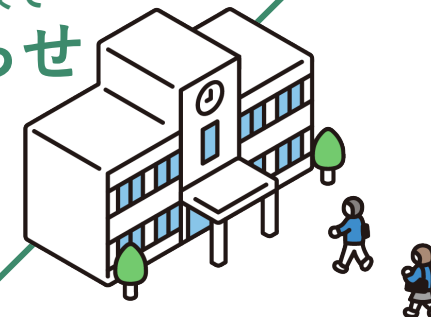
小学校で
学生による
体験談



イベント
での宣伝



田村市・中野区
の小学校で
お知らせ



05 効果と新規性

1人あたり、4泊5日での費用

コンテンツ費	35,000円
食費	10000円
交通費 マイクロバス一日 3万円×5日÷20人	7500円

※コンテンツ費：入場料・材料費・体験料・人件費



【合計】

中野区の子の場合

52,500円

田村市の子の場合

42,500円

※田村市の子どもの家に滞在するので、後者の食費は除く

※中野区の子どもの食費分はホストファミリーへ

3年間継続して参加したとき

中野区の小学生
1年で 52,500円

× 3

田村市の小学生
1年で 42,500円

× 3

中野区の小学生

157,500円/人

田村市の小学生

127,500円/人

プランを継続したとき

夏休みの一か月、毎週20人ずつ受け入れる

	小4	小5	小6
1週目	20人：950,000円	20人：950,000円	20人：950,000円
2週目	20人：950,000円	20人：950,000円	20人：950,000円
3週目	20人：950,000円	20人：950,000円	20人：950,000円
4週目	20人：950,000円	20人：950,000円	20人：950,000円
1年目：3,800,000円			3年目以降毎年：
2年目：7,600,000円			11,400,000円

※毎週必ず20人来ることを想定



中野区の小学生に対する効果

3年間同じ田村市の子・家族と一緒に過ごす



もう一つのふるさとができ、帰省感覚で訪れる

※ふるさとという感覚がない子にとっては初めてのふるさとになる！



田村市の小学生に対する効果

普段の生活環境が異なる中野区の子との交流

→今まで「当たり前」だったものが魅力的だということに気が付く



地元を誇りに思える



田村市への効果

3年間の体験プラン・ホームステイ、
サポーター制度などのリポートづくり



中野区から
長期にわたり何度も来訪する
仕組み



関係人口の増加

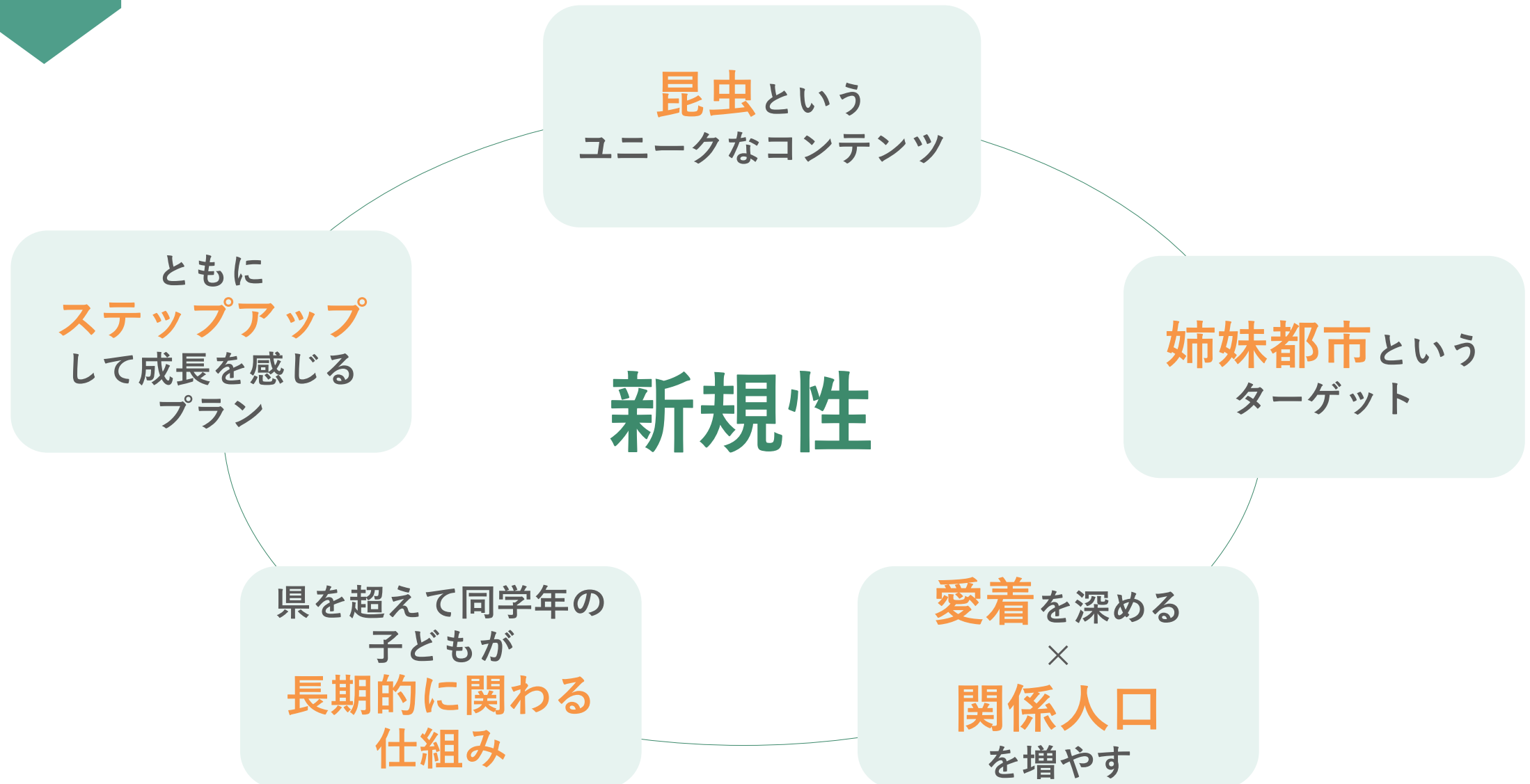
3年間の体験プラン・ホームステイ、
サポーター制度などによる
市外の人との交流の積み重ね



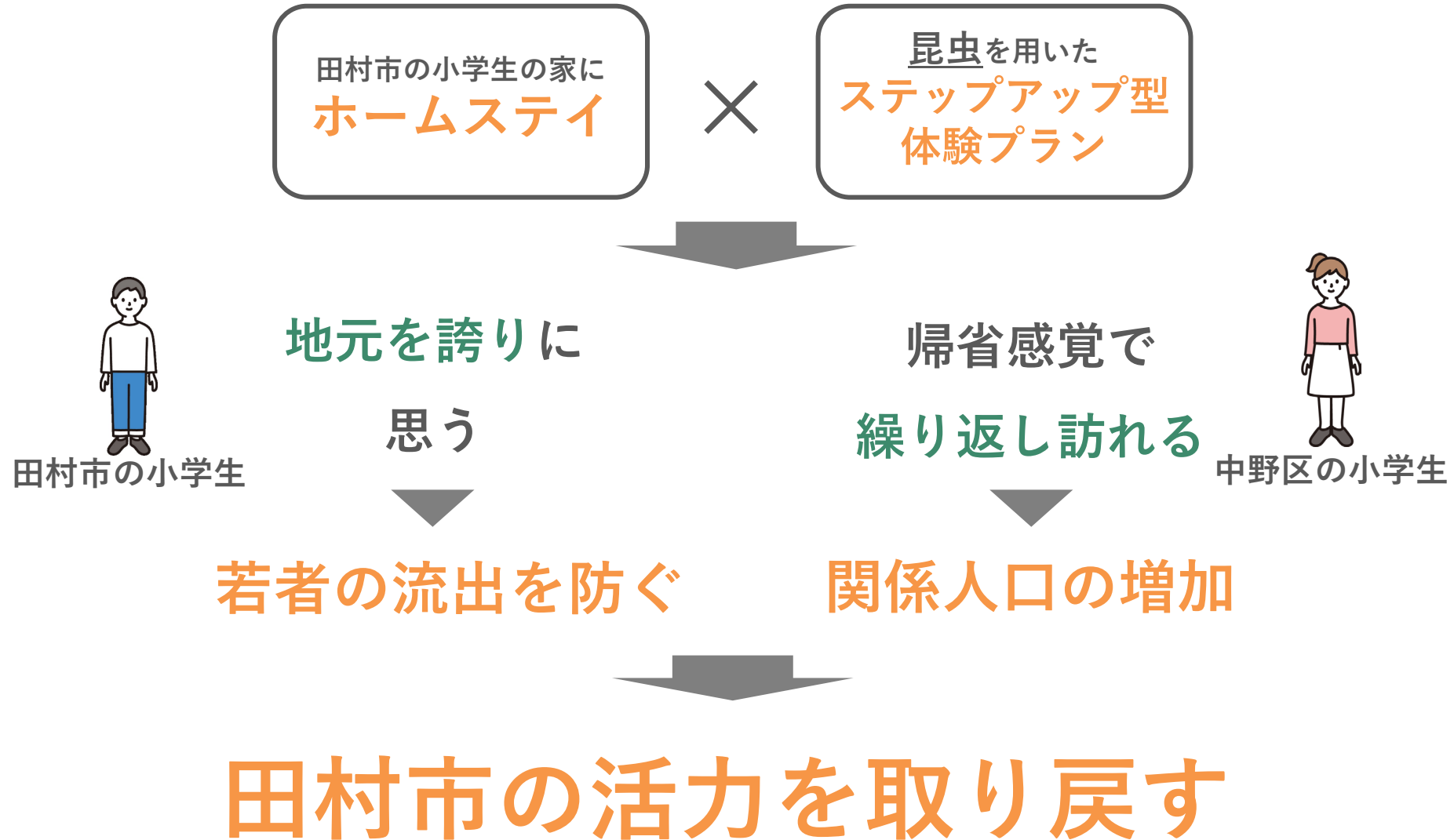
若者が田村の魅力を理解し
シビックプライドが高まる



若者の流出を防ぐ



06 おわりに





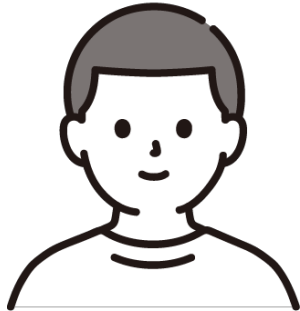
田村市観光交流課
玄葉様

田村市の子どもたちへのシビックプライドの醸成、
中野区との交流促進による関係人口化。
ホームステイを通してホスト側とゲスト側の両方に
将来的なファンづくりをしていく仕掛けはさすがですね！

田村市のホームステイ先と中野区の子供とのマッチングに
Switchは協力できます！
またお祭りなどの地域のイベントと関連づけると面白いと
思います！



Switch
菅野様



観光学を学ぶ学生

田村市と姉妹都市である中野区とのつながりによって、プラン効果に関係人口を絡めるというのが、独創的で興味深い案だと思いました。

児童館にいる子供達は特に、夏休みも共働きで長期の旅行に行かないという家庭も多いので、子供達に一夏の思い出を作るという面でも素敵なプランだと思っていました。



児童館で働いている学生

原発の被害を受けたものの、早くに日常を取り戻した田村市は、
次のフェーズに向かおうとしています。

だからこそ私たちの考える観光まちづくりに基づくプランでは、
市内外にファンをつくり、市民の誇りを高め、田村市としての活力を取り戻すことで、
復興を越えた先にある課題を解決できるような地域づくりを目指します。

そして、復興のフロントランナーとして他の11市町村を巻き込み、
田村市が中心となって12市町村全体が発展することを願っています。

参考文献



PRTIMES、2018、「2018年ノーベル賞発表直前 子供の科学への関心調査」、『子どもの科学に対する関心分野』
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000050.000026954.html>（2023年8月20日アクセス）

国勢調査、2020、「R2国税調査（人口流出）」
<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1Ph9B0HhhEpjPdoLo0SKGSs34qVfZUoEz/edit#gid=903782277>（市役所提供）

国立青少年教育振興機構、2021、「青少年の体験活動等に関する意識調査」、『3.3.4 青少年の体験と探求力の関係』、p94
<https://www.niye.go.jp/files/items/6936/File/%E8%87%AA%E7%AB%8B/zentai.pdf>、（2023年8月20日アクセス）

田村市、2023、「田村市避難状況調査報告書」、
https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/8/hinanzyoukyou_1_1.html、（2023年8月20日アクセス）

文部科学省、「体験活動の教育的意義」
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/04121502/055/003.htm（2023年8月20日アクセス）